

2015.10.29（改訂版）

意欲ある学生支援事業「おたすけ」試験的实施につき応募学生の募集

理系女性教育開発共同機構は、理数系学問の学習・研究に関連して何かやってみたいことのある学生を支援する事業「おたすけ」をはじめます。意欲ある学生の皆さまからの積極的な応募を歓迎します。

- ・ 学生の立てた活動計画に必要な物品等を本機構で購入して、お渡しします。
- ・ 来年度から本格的に開始する事業の試験的な実施です。

おうえんします・たかみを目指す・すぐれた・けんきゅう

【募集対象】

- ・ 理数系科目に関係する、学生自身による自主的な活動計画案を募集します。活動の目的は次のどちらでもかまいません。
 - (1)学修・研究を目的とするもの
 - (2)既に学修・研究した内容を活用することを目的とするもの
- ・ 上記(1),(2)のどちらにも属さない計画の応募申請があった場合は、選考対象とするかどうかを本機構で個別に審議します。

【活動計画が選考対象となるための条件】

- ・ 原則として活動計画は数学・自然科学に関わるものとします。ただし、狭義では理数系とは見なされない活動についても、科学的・実証的な態度に基づくもので、本機構が学修・研究上の有用性を認めたものについては、選考対象とする場合があります。
- ・ 主体が学生側にあれば、本学の教員が計画に関わっていても構いません。
- ・ あまりに具体性のないもの、学修・研究活動と認められないもの、実際に活動計画が実施されたか確認のできないものは選考対象としません。

【応募資格者】

- ・ 奈良女子大学および大学院人間文化研究科の正規在学生
- ・ 奈良女子大学および大学院人間文化研究科の正規在学生を代表者とするグループ

【応募に当たっての了解事項】

- ・ 活動計画が採択された学生には、簡単な活動報告書を作成・提出してもら

います。（A4用紙2～5ページ程度、提出期限は年度末頃を予定。活動が年度をまたぐ場合は相談に応じます。）

- ・ 提出していただいた報告書は、本活動の紹介および広報による学修相乗効果を見込み、本機構のホームページ上の記事、または冊子等の形で広く公開する予定です。広報の際には、活動の様子を撮影した写真、参加者の所属・氏名を公表する場合があります。（希望により、氏名をイニシャルに変更するなどの調整は可能。）
- ・ 応募書類もまた、本機構のホームページ等を通じて広報活動に利用する可能性があります。また、選考の透明性を保つ目的のために、応募書類は応募者の氏名を伏せた形で他の応募者に公開する場合があります。
- ・ 活動計画が採択された場合でも、希望される物品等の一部が本機構の予算から購入できない場合があります。このような制約が生じた場合は、選考の段階から随時候補者と連絡を取り、調整を行います。

【選考基準】

- ・ 予算内に収まる場合には、選考対象となった全ての活動計画を採択します。
- ・ 予算を超える数の応募があった場合は、書類審査により採択者を決定します。書類のみによる判断が困難な場合は、面接により候補者を選別します。
- ・ 書類は下記の基準に従い、30点満点で採点します：
 1. 計画の具体性を評価する。（10点）
 2. 活動の効果について
 - 募集対象(1)の場合、学修効果の大きさを評価する。（10点）
 - 募集対象(2)の場合は、有用性と波及効果を評価する。（10点）
 - 募集対象(1)(2)のいずれにも属さない計画については、上記2項目に準じた形で採点基準を設定し、得点をつける。（10点）
 3. 独自性のあるもの、創造的なものは評価する。（10点）

【応募書類の作成要項】

書式は自由です。（手書きも可）下記の5項目をもれなく記載して下さい。書類選考を行う場合がありますので、選考基準をよく読んだうえで、計画のアピールポイントがよく伝わる書類を、絵や図、数式などを有効に用いて作成してください。内容は専門的でも構いません。

1. 活動内容（どんなことをするか、目的は何か、の2点が判れば良い。A4, 1～2枚程度）
2. 購入希望品のリストと合計金額（推定金額。採択後に相談の上、多少増減できます。）

3. 活動計画に参加する者の氏名、学年、所属
4. 代表者の連絡先（e-mail）
5. 担当教員の所属と氏名（担当の教員がいない場合は、形式上共同機構の教員が担当する形になりますので、その旨を明記してください。）

【応募書類の提出方法】

- ・ PDFまたはwordファイルを電子メールに添付し、件名を【活動計画2015（応募者氏名）】として下記アドレスまで提出してください。
- ・ 提出先：coreofstem@cc.nara-wu.ac.jp
- ・ 上記の方法で提出できない場合に限り、紙媒体での提出を受け付けます。締切までにコラボレーションセンターZ207まで書類を持参してください。
（午前10時から午後5時まで）※ 時間帯によっては人がいない場合もありますので、事前に電話確認をいただけると確実です。（電話 0742-20-3266）

【応募締切・選考スケジュール】

- ・ 応募締切：11月20日（金）午後5時
- ・ 面接を行う場合は、23日（月）から26日（木）の間に実施。（都合の悪い場合は相談に応じます。できるだけ早くご連絡ください。）
- ・ 採択者への連絡は11月27日を予定。物品等の支給手続き開始は12月初旬を予定。
- ・ なお、不審な点があった場合には、採択を取り消す場合があります。

【実施の方法】

- ・ 原則的に、購入を希望される物品等を本機構で購入し、支給する形で行います。詳細については、活動計画の採択後に説明します。

【追加情報・問い合わせ先】

- ・ 本募集に関する最新の情報は、本機構のホームページを通じて告知していきますので、随時ご確認ください。

CORE of STEM: <http://www.nara-wu.ac.jp/core/index.html#>

- ・ 電子メールによるお問い合わせは、件名を【活動計画2015 inquiry（氏名）】として coreofstem@cc.nara-wu.ac.jp までお送りください。

「おたすけ」活動計画の例

参考までに、いくつか仮想的な活動計画の例をあげておきます。もちろん、これらの例とは全く異なる、自由な活動計画も歓迎します。（著名人の名前をお借りしていますが、本人とは一切関係ありません。また、物品の金額などは仮のものです。）

【例1. 尾瀬の湿地植物を観察しに行きたい。】

理学部生物学科1年 大塚楠緒子（担当：理学部 教授 北村透谷）

私は湿地帯の植物が好きで、今後、研究していきたいと思っています。尾瀬には、これまでに2度行った事がありますが、さまざまな種類の湿地植物が生えている天国のように素晴らしいところです。大学生になって生物の知識も身についてきた今、もう一度尾瀬に行って植物の観察がしたいです。

特にどうしても野生のナガバモウセンゴケをこの目で見てみたいです。モウセンゴケは「牛の蠅取り」とも呼ばれ（中略）

7日間という計画にした理由は、まず1日目に（以下略）

見積もり：8万円（交通費3万円・宿泊費5万円、6泊7日）

【例2. アプリを作りたい。】

文学部1年 三宅花圃（担当：生活環境学部 准教授 長谷川等伯）

ふと興味がわき、今年前期にトポロジーの講義に潜りこんでみました。とても面白かったのですが、私は空間図形がうまく想像できないので、もどかしく感じました。又帽やボーイ曲面が出てきたり、メビウスの帯と円板の境界を貼り合わせたりしましたが、式や展開図では理解できても絵がうまく想像できません。内容を味わうという点で何だか損をしているように感じます。

プログラミングは得意なので、上にあげた空間図形を簡単にイメージできるような使いやすい3次元描画アプリを開発したいと思っています。（以下略）

見積もり：4万5千円（ソフト「〇〇」4万円、ねんど・紙など5千円）

【例3. 実験や実習に必要な物品を購入したい】

理学部2年 山川菊栄、岸田俊子、小倉遊亀（計3名）

（担当：生活環境学部 准教授 森茉莉）

以前、実習で感覚センサーを利用したロボット工作を行ったのですが、私たちはこれが大変気に入り、もっと深く追求してみたくなりました。最終的には、ドローンのような小型ヘリコプターを作って飛ばすところまで進めたいと考えています。（以下略）

見積もり：3万円（実験材料等：3万円）

※実際の応募書類には、内訳も記入してください。

【例4. 教科書を購入して自主ゼミを開きたい。】

理学部数学科3年 楠本高子、石垣りん、水野仙子（計3名）

（担当：理学部 准教授 中原中也）

将来的に数理物理学を学びたいので、そろそろ物理学も勉強しておこうかと思っている。共形場理論を学ぶのには Di Francesco et al.の「Conformal Field Theory」という教科書がたいそう良いらしいと聞く。しかし教科書が高価なうえに図書室にもないので困っている。ひとり1冊、計3冊分購入して自主ゼミに使いたい。厚い本のようなので3月までにだいたい1章から5章までが読めればいいかなと思っている。共形場理論の面白さは（以下略）

見積もり：6万円（教科書 2万円 × 3）

【例5. 講師を呼んでセミナーを開きたい。】

理学部物理学科4年 岡本かの子、田村俊子、上村松園（計3名）

（担当：理学部 教授 魯迅）

私たちは「もにゃわみ」という新しい概念に興味を持って勉強していますが、どうも肝心な点がつかめないようなもどかしい感じがしています。そこで、この分野の第一人者である夏目漱石氏を招き、セミナーを開催することによって理解を深めたいと考えています。夏目漱石氏への連絡と交渉は直接のお知り合いである理学部の魯迅先生にお願いすることで既に調整済みです。（以下略）

見積もり：10万円（講師の宿泊交通費 5万円、セミナー謝金 5万円）